

第2回 鯖江市行政評価委員会（Aグループ）議事録

- 【日 時】 10月15日（月） 18：30～21：30
【場 所】 鯖江市役所 4階 第3委員会室
【出席者】 行政評価委員5名（武井、齋藤晋、竹内、土田、蓑輪）
宇野政策経営部長、友永企画財政課長、斉藤参事、渡辺課長補佐、鈴木主事
【傍聴者】 1名

1 開会

- ◆武井委員長あいさつ
- ◆事務局より評価手順の確認

2 外部評価実施

① 学校教育を充実する（所管：教育政策課）

<概要説明>

- ◆基本施策個別評価シートに基づき概要説明

<質疑応答>

委員：総合評価の中で一部努力を要するというのは、事務事業でCランクが2つあるからなのか。

事務局：目標未達成が2事業あったため、内部評価ではBランクとなった。

委員：この事務事業に対して、ランク付けはそぐわない感ある。

委員長：ランク付けの話も出たが、指標付けも難しい。

委員：いじめ問題に対しては、どのような対応をとられているのか。

所管課：学校全体で対応している。精神的な部分についてはスクールカウンセラーによるカウンセリング、また家庭的な問題となるとスクールソーシャルワーカーによる対応となる。基本的には、各学校において早期発見による対応が大事である。生徒指導、学年主任、学級担任が連携しながら情報を密にして対応している。

委員：スクールカウンセラーは何人いるのか。

所管課：全校に1週間に1度1人を配置している。市費で7人、県費で4人を配置。中には1人で2校もつ場合もある。スクールカウンセラーは、不登校や教室に入れない子どもの相談対応をしている。中学校が中心であったが、小学校にも配置をという要望にも対応しており、また、幼稚園にも配置している。

委員：不登校児の問題で、私主任指導員をしているが、1年生の5月から学校に行けなくなり、6年生になってケース会議が開かれた。その5年間は見守ってほしいというが、学校でさえ家庭に入れないところで、私達地域の者がなかなか子どもにも関われない、かかわりを持つ親にも会えないという状況である。やはり1年に1回は民生委員や家庭相談員での会議を持っていただければもう少し対応が進むのではと実感している。私は今、中学生を1名、小学6年生を1名担当しているが、ケース会議を開いてもなかなか進展しない。小学校できちんと

対応しないと中学校では戻ることにはできない。そういった人達に対して私達はどのように注意していけばいいか。学校側も卒業して中学校へ児童をおくらないといけないから、6年生の12月ぐらいにケース会議を開いても遅い。

所管課：あんまり他の人に任せるとなると、担任に対しての不信感が出てくるということも聞く。

委員：今は、教頭、担任が週に1度顔をだしてくださいという状況になっている。

所管課：県においては、30日以上欠席が不登校、5日以上欠席者については報告書としてまとめてケアしていく。結果、昨年から今年にかけて減少している。中学校は減少しているが、小学校は横ばいである。

委員：小学校も対象児童が卒業したらいいのではなくて、中学校と連携し対応することが大事。早期の対応が必要である。

委員長：学校整備事業についてはH27年度で終了する。委員の皆さんからはソフト事業への質問が多くでており、全体的な話になってきている。

委員長：ケアの面で、最近では先生方をカウンセリングする、カウンセラーが先生方のケアまでしているということを知ったことがある。学校教育全体が上下関係を含めてギクシャクしているように思う。鯖江市では現状はどうか。

所管課：学校におけることは、基本的に校長先生や教頭先生に管理してもらうことになるので、私は詳しいことはわからないが、メンタル面で不安定であるという先生もいるように思う。また、学校での教育、不登校やいじめの問題、また女性であると家庭での家事負担、子育て等からのプレッシャーにて悩んでいる人や精神的な疲労感をもっている人などたまにいると聞くことがある。

委員長：ゆとり教育の人が先生になる。学校教育が充実する中で、先生のケア、母親としての先生という面でも考える必要があるのかな。次のステップの部分で学校教育のあり方を、評価が政策目標について概ね順調であるか、一部の中で、いわゆるソフト面で、生徒や先生への対応、学校全体をどうしていくかという部分に目を向けるようなことを考えていただけたらと思う。

所管課：市では、教師の多忙化を考え、支援員をおいて学級経営負担軽減を図っている。こういった側面的な環境整備はできるが、先生の増員等になると、県の範疇であり難しいところがあると思う。

委員：現場の声は届いているのか。

所管課：直接入ってくることはない。指導主事が定期的に学校を訪問し情報交換している中で聞く事はある。

委員：客観的に学校は、まだ閉鎖的なところはあるのか。

所管課：学校も気にかけているのが、オープンにする場合に、子どもたちに与える影響、また保護者にもいろいろな考えをもっている人がいるため悩ましい。市教委においても、必要なことはオープンにしなければいけないと考えており、至民中のような事件があれば警察も関わることになり、当然マスコミも入ることになり、このような対応等が子どもに与える影響も考えながら対応することも必要であるため考えていかなければならない。

委員：学校、地域、そして家庭の連携が基本になければならない。

所管課：学校からの情報が地域にながれていかないとのお叱りもある。

委員：学校評価において、1～3学期の報告書をいただくことになるが、先生が報告書作成に苦労し

ている。現場で頑張ってもらわなければいけない先生が資料作成で負担になっている。

所管課：調査が減らないのが現状で、先生への負担が多くなっているように思う。

委員長：生徒が減少する中で、施設の拡充、空き教室を利用して、例えば、教育相談事業やカウンセラー、社会人・地域人材活用事業など、地域と関わる事業ができないか。

委員：先生の負担を考えて、地域へ出せる事業というものもあるかもしれない。

委員：「学校教育を充実する」の実施策の3つもお題目にすぎる。学校だけに頼らず、行政側と学校の連携を密にし、地域人材活用など地域との連携を模索していくといいと思う。地域の子どもは地域で育てる、例えば、地域の名所・旧跡を地域の人に知ってもらい子どもたちに紹介するなど。公民館合宿はいい機会である。

<意見交換>

委員長：ハード整備は申し分ない。学校と地域との連携を今後お願いしたいとの要望をふまえてBランクということにしたいが、ご意見ありますか。

委員：地域や公民館との連携も必要に思うが、子どもたちが地域を好きになるといった郷土愛をもってもらえるような事業はあるのか。

所管課：鯖江の産業体験や社会見学、また、郷土偉人や私達の鯖江市と題した冊子を作成し各校へ配布している。

委員：4年生になる私の子どもの夏休みの友で、三国町の民話の話で、「肉付き面」の話があった。すると三国にたくさんの親子連れが訪れたと聞いた。そういったことをどこかで触れると実際に興味を持つ。なぜ、鯖江市は眼鏡と漆器が発展してきたのか、歴史的な部分も含めて紹介していただくといいと思う。

<方向性判断>

委員長：総合学習についての指標も考えていただけるといい。地域との関わり、地域ができることは地域に任せて、学校と地域を結んでいく。

また、人材活用を含めて生涯学習をどうつないでいくか。生徒、先生、そして地域とのつながり、人とのつながりを今後取り組んでいただきたい。以上をふまえ、2つの事務事業のCランクだけでなく、今後の検討も含め概ね順調ではあるが、一層の努力を要するとして評価をBランクとしたいが、よろしいでしょうか。

委員：特になし

② 人といきものが共生する循環社会を構築する（所管：環境課）

<概要説明>

◆基本施策個別評価シートに基づき概要説明

<質疑応答>

委員：ごみの増加原因は何が要因と考えているか。

所管課：全体に占めるウエイトとして事業系ごみが増えている。家庭系ごみはH22～H23に比べて減

少している。しかし、全体としては高くなってきている。今後は事業系一般廃棄物の分別資源化に取り組んでいかなければならないと考えている。

委員：私もダンボールコンポストの地域講習会に参加した。堆肥化したものを家庭菜園として使うのはいいが、家庭菜園がない方は利用が難しいのではないかと。一般的な普及率はどれくらいいくと考えているか。雑紙の分別収集ならびに剪定枝分別収集、剪定枝はそんなに多くでているのか。

所管課：剪定枝は燃えるごみの15%を占めている。冬場、春先では5%になる。環境資源公社では、チップ化してボイラー燃料等再資源化している。市内での排出量は、年間2,000t見込んでいる。公社では、直接持ち込みで処理している。鯖江クリーンセンターでは処理コストがかかるため、将来的には資源化、費用対効果も考え、町内単位での収集などのシステムづくりを検討している。生ごみの堆肥化では、ダンボールコンポスト、生ごみリサイクル市民ネットワークの活動を支援している。これらを含めて生ごみ40%のうち2割の減量化を見込んでいる。生ごみ処理機補助制度開始から10年以上経過し、現在では、使えなくなっている状況もあり、実際に手軽にできるということでダンボールコンポストに取り組んでいる。家庭系については、ダンボールコンポストや生ごみリサイクル市民ネットワークの活動を利用し減量化を進める一方で、排出量が多い、公共施設からの食物残渣について、生ごみ堆肥化モデル事業を組み替えて減量化に取り組んでいる。

委員：公社とかの紹介も含めて、広報もなかなか一般市民は見ないところがある。伝える手段があるといい。

委員長：かつては、学校では生ごみ処理機を導入しようという動きもあった。

所管課：生ごみ処理機も現在稼働しているのは1校。5校導入したが故障してしまい修繕経費が捻出できず、またお金をかけることもできない。こうした状況を踏まえ、全体量を把握しながら学校の給食残渣など排出量が多い施設を中心とした生ごみの一帯処理の考え方に方向転換している。

委員：雑紙、生ごみの水切りについては、何回も周知徹底しないと浸透していかないと思う。例えば、2ヶ月に1度大きなチラシ等で周知徹底などしなければいけないと思う。また、収集日に出勤途中の人が、通りがかりに捨てていくことがある。そういった人を追放しなければいけない。

委員：環境教育、エコクラブなど、子どもの時から、ごみの分別、環境問題を教育していくこと等、学校教育との連携の充実が必要と感じる。

委員長：地域ごとに、市と市民の代表と一緒にステーションを巡回し、ごみ分別等のスタイルを学んでもらうといったシステムを作って、地域に浸透させてはどうか。

所管課：全体でこまめに巡回するのは難しい。現在は、町内ごとの出前講座で対応している。地域へ浸透させるシステムを考えなければならない。

委員長：役所と市民が対立せず役割分担を決め、市民が身近な問題として取り組んでいくといったように具体化していくといい。また、ごみの話も、学校で地域のことを知るような連携があってもいい。鯖江市を紹介するガイドブックがあるならごみの話も入れる。循環型社会の推進については、市民の方がんばってもらうための体制を整えることが必要。そこから環境市民の育成につながると思う。ここが手薄ということが総合評価に繋がっているように思う。

委員：鯖江市の名水百選といわれるような湧水はどれくらいあるのか。

委員長：河和田の桃源清水、三場坂清水、米岡町の榎清水、定次町の許佐羅江清水の4箇所が福井のおいしい水に認定されている。湧水を活用したイベントも開催しており、特に河和田では、1年目は市が支援したが、2年目からは地域主体で実施している。許佐羅江清水では、以前生息していたトミヨやバイカモといった魚・植物などを復活させようと、自然保護意識の高揚を図るための活動を行っている。

委員：こういった活動の場所を市民がわかるようにPRしてほしい。

所管課：ホームページにて場所を紹介している。

委員長：自然保護に水を結びつけることは重要だと思う。山の保全、森づくり等、循環的に取り組むということで、地球温暖化防止にもつながる。ソーラーに対する取り組みの拡充も検討も必要。

委員長：こどもエコクラブはどうなるのか。

所管課：こどもエコクラブの活動は環境基本計画にも明記されている。補助金の仕訳を工夫することや現状をふまえてどうしていくか次年度以降検討していく。環境基本計画は平成26年に見直しを図る。

委員：地球温暖化防止計画の中で、これをすればこれくらいのカロリー減になるとかを紹介するパンフレットのものはあるのか。

所管課：家庭で、2kg/世帯のCO2ダイエットを実践してもらうということで募集をかけている。これは提案型市民役事業で、平成25年度以降については拡充を考えている。

委員：環境分野で、将来雇用や事業化に繋がる取り組みはあるのか

所管課：環境ビジネスとして、生ごみ堆肥化して加工して市販していくシステムづくりや新エネ分野で電気の固定価格買取制度で事業化などが考えられる。

委員：子どもにつなげていくということで、そういったところでの雇用、人材育成は考えられないか。

所管課：事業化は別として、リーダーの育成も必要に思う。環境リーダーを育成し指導者として活動も考えられる。

委員：医療費やごみはかなりの経費がかかっているように思う。

委員長：ソーラーも5年経過すると高くなり誰も買わなくなる。地域で買取するような仕組みをつかっていくといったシステムをつかっていくことで、事業化、ビジネスにつながっていく。地球温暖化防止計画も策定されたので、この中で1つのアクションとして入ってきてもいいのかな。

<意見交換>

委員長：総合評価はBであるが、ごみと市民参加に、地球温暖化防止計画もできたということで、中味どう活かしていくかという点で一層の努力を要するといったことを前提に評価するというところでどうでしょうか。

委員：ごみの減量化については、個人の意識を変えていくことに頼ることになる。太陽光については補助制度があるが、例えば、薪ストーブ導入等に補助することで、一般家庭での剪定枝利用、またペレット化などでごみの減量化につながる部分があるのかなと思う。

所管課：温暖化対策の観点では考えていかなければいけない。太陽光と太陽熱だけが温暖化対策ではない。家庭での雨水利用、水力利用等家庭での代替エネルギー活用で温暖化対策に繋がる。

薪とか化石燃料とかトータル的に考えていかなければならない。

委員：実際に導入したことで、これだけ電気代が減りましたなど PR できるといい。

所管課：エコネットさばえについても、薪ストーブ利用で電気代が減っている。そういったことを公表していくことも必要に思う。

<方向性判断>

委員長：ごみの減量化については、市民参加で変えていくことが可能である。生ごみ、剪定枝等個別に減量化できるものについて努力を要していく。また、学校との連携により、食物残渣の減少、また、環境意識高揚に向け、市民が育つような体制を整えていく、さらに、地球温暖化対策では、太陽光等だけでなく、他のモードでの事業化から雇用へ繋がるような取り組みを検討いただくというところを、政策目標に向けて、一部努力を要するというところで、B 評価でよろしいか。

委員：了承

委員：環境に対する資格についての人材育成、環境リーダー育成などは、今後環境分野での重要な施策としてクローズアップされてくると思う。

③ 調和のとれた都市空間を形成する（所管：都市計画課）

<概要説明>

◆基本施策個別評価シートに基づき概要説明

<質疑応答>

委員：鯖江百景については、ふるさと愛着的なところがあると思うが、基本的には対外的に発信するものなのか。

所管課：鯖江市のいいところを鯖江市外の人に情報発信して、交流人口を増やしていくことと、いい景観を市民とともに守っていこうという意識付けをしていきたいと考えている。

委員：そうすると、商工政策課、会議所とも連携があって、人を集めるということに狙いがあるのか。

所管課：どちらかというと、優れた景観を子孫に残していこうという意識付けが第 1 番で、鯖江市のいいところを広く観てもらおうということが 2 番目になる。

委員：鯖江百景選定事業は、提案型市民主役事業化制度にも出ている。去年は応募者もあり審議をしたが採用されなかった経緯があったが。

所管課：選定が景観審議会で行うため、民間に依頼して双方に利点があるかどうか疑問があった。しかし、応募が少ないのも事実で、民間にお願いするともっと応募があるようにも思う。百景も、中心部は選定数が多いが、地方部が少ない。公民館等を通して募集の周知を図りたい。もともとが、21 世紀にちなんで鯖江 21 景として始まった。それを、100 景を目標に少しずつ増やしていった。今年度も一昨年同様、地域の皆さんに地域の宝や自慢の風景を教えて欲しいといった感じで募集していきたい。提案型市民主役事業化制度については、提案内容を見た上で、判断していきたい。

委員：ふくい百景は箱物が選定されていなくて、将来に残したいものが多い。鯖江百景は施設がメ

インになっているように思う。愛好家に周知するともっとあると思う。

所管課：まつりとか、人間の日常的な活動風景も取り入れていきたい。今年度は景観コンテストを予定している。クリスマスや正月などの冬のイベントや伝統行事にスポットをあてて募集したい。百景にも人の活動があってもいいと思う。

委員：伝統的民家は古民家のことだと思うが、現存の古民家の維持にかかる補助率の変更は考えているか。

所管課：国・県・市で改修の補助をしている。伝統的民家というと、切妻屋根で妻壁は漆喰塗りの地域の伝統的な意匠を基調とした建物が一般的です。立待地区では10戸以上の伝統的民家や蔵があり保存群として県が支援していこうと、ソフト的な支援として、地区の団体を指定して美化活動等に対して支援していく。建物については引き続き外観の改修支援をしていくが、かなりの改修費用の中で補助が少ないということではなかなか使っていただけないのも事実である。個人の財産でもあるため、市独自の上乗せは考えていない。

委員：鯖江市の公園は大変きれいに整備、管理されていると思う。

所管課：指定管理者にて管理をしているが、年1億1千万円、西山公園については約6千万円の経費をかけている。また、地域の小さな公園については、地域の皆さんに里親制度にて管理をお願いしている。

委員：公園の利用はどのくらいあるのか。

所管課：少ないのも現実。しかし、高齢者の方々が何かと利用しているようである。子供たちの利用は少ないように思う。

委員：遊具と砂場があると利用者はある。地区内の公園にも外からも訪れている。私の地元では、遊具のペンキ塗りを社協から支援をいただいて実施している。

所管課：砂場の抗菌剤は市で配布している。塗料などは、社協でお願いしているのは事実ですが、里親制度では草むしりや低木の剪定などの公園美化の活動費として、1回3,000円、年5回15,000円支給している。さらに、花の苗やブロックなども支給している。

委員：鯖江市全体の公園や景観も含めた統一的なテーマはないのか。例えば古民家も再生していくとか、バラバラ感があるように感じる。

所管課：住み続ける、住民主役のまちづくりを進めていく、住民が自ら行うまちづくりということを考えてマスタープランを策定した。

委員：市長の3期の公約、人が集まるまちづくりに沿っていると思う。

委員長：これまでは、行政が頭から押し付けるような内容であったが、今回は地区ごとにやろうとすることをバックアップしていく。住み続けるためにはどうしていったらいいかを地区ごとに考えていく。大きくは人口を減らさない、住み続けていくということを基本に計画を策定した。

委員：なおさら、公園利用等どう利用していくか。

委員長：管理してどう利用していくか。ボトムアップ的な雰囲気作りが必要。

委員：鯖江百景の整備はどう考えているのか。

所管課：整備というのは特に考えていないが、地域の宝をみんなで守っていくということが前提である。選定後は、コミバス等を利用して回遊ルートなどをPRしている。

委員：広報を含めて地域に発信していくことが大事

所管課：視点場の整備も検討していく。座って観るなどベンチなどの整備も考えていく。

委員：豊地区に訪れる、コハクチョウもいいと思う。

所管課：動物については、今後来なくなる可能性があるため選定は難しい。

委員：では、コハクチョウが再度飛来してくるような環境づくりも必要ではないか。

委員：そういったことでは、石生谷町の冬水たんぼもいいと思う。

委員：地域の人が頑張っている営みを選定するといい。

所管課：景観保全活動にもスポットをあてていきたい。

委員長：地域で盛り上がっていくことを、どう作っていくかが課題。

委員：鯖江の湧水4箇所も是非選定して欲しい。

委員長：公園、景観、使う側、守る側をどう作っていくかも一部努力に合致するのかなと思う。

委員：西山公園と道の駅、さらには本町通りへの動線計画は。

所管課：道の駅で情報を収集し、本町通りへ人が流れていくということと、西山公園も散策してもらうことの2つである。

委員：街なかをどう計画立てていくか、なかなか大変に思う。結果的になかなかできない。

所管課：口では賑わい創出というが、なかなか現状では難しい。都市計画としては、できるだけ中心性を高めていくような施策・制度の活用を考えていきたい。

委員：なるべく散策してほしい。

所管課：サイクリング事業として、道の駅に自転車を置いて中心市街地を散策してもらうことも考えている。市街地の個店も魅力を高めないとなかなか人も流れて来ない。他へ流れていってしまう。

委員：統一テーマがあるといいのかな。

所管課：オンリーワンの商品開発などを考えていかないといけないかもしれない。まちづくりに向けた人づくりも重要になってくる。

委員：鯖江は人が歩いていないさびしい感じがする。人口が増えているのは住みやすく、通勤の利便性だけで、観光の要素ではない。

所管課：商工会議所も賑わいプランを策定し、誠市・ご縁市等いろんな事業を実施している。ようやく根についてきており、今後どう発展させていくのか、また、都市計画としてどう支援していけるかを考えていかなければいけない。

委員長：中心市街地の件は大きな課題である。

所管課：中心市街地では、おかみさんが10月1日に景観推進団体に認定された。このような地域活動を県、市でバックアップしていく。

委員長：やる気のあるところが拠点としてつながって、まちを支えていく。

<意見交換>

委員長：公園は指定管理と里親としての管理が充実しており、公園を里親で支えて、里親を感謝するような子どもたちが出てきて欲しいというニュアンスと、景観選定も息長く、また抜けている観点を拡充していくという努力をしていく、いずれにしても人の問題で誰が残す、誰が使う、整備したものをどのように市民にどう関連付けていくかに課題があるかなという話になったかなと思うが、施策については、政策目標にむけて概ね順調であるが、人づくり、賑わいづくりの面でもう少し努力をしてほしいということで総合評価Bにしたいと思うが。

委員：災害時と公園の関係はどうなっているか

所管課：全ての都市公園が避難地の指定を受けている。また、公園内に各地区の資機材倉庫が入っている事例も多くある。設置の申請があれば優先的に許可している。

委員長：里親制度と関連して、避難場所としての整備という観点も検討していただきたい。

<方向性判断>

委員長：政策目標に向けて概ね順調であるが一部努力を要する、一部努力の中には人的な考え、公園の場合は整備して、日常的にはもう少し利用者を増やす。防災の面では里親制度と関連した避難場所としての整備。景観は100景まで選定し、どう守っていくかのシステムづくり等、ソフト面の充実を努力目標としていくということでB評価とする。よろしいでしょうか。

委員：了承